

事例：No. 8

スムーズな合意形成と路網整備・高性能林業機械を組合せた間伐

1. 林業事業体等名 千葉県森林組合安房支所（千葉県南房総市・鴨川市）

2. 林業事業体の概要

①年間素材生産量 6,000m³（うち間伐の占める割80%）

②生産する主な樹種 スギ、ヒノキ

③素材生産に関わる作業員数 10名（1セット5名×2セット）

3. 取組の特長

- ・ 森林所有者との合意形成や事業地確保は、地区（字）毎に人選した地区推進委員や行政区長を核に取りまとめを行い、取り組んでいる。
- ・ 素材生産の実施にあたっては、高密度路網の作設と高性能林業機械の活用により作業効率の向上を図るとともに、施業地の作業条件に応じ伐木、集材、造材の各作業工程のバランスを考慮した作業計画や機械配置を工夫することにより機械の稼働率を高めている。

4. 具体的な内容

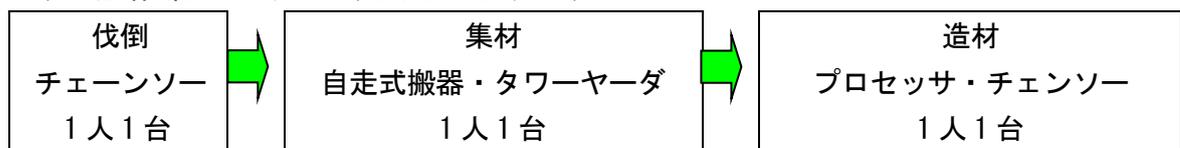
①施業方法：作業路開設と高性能林業機械による作業

②使用機械：

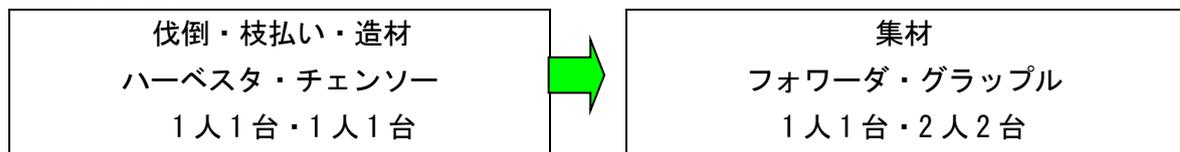
ハーベスタ 1台、グラップル 2台、フォワーダ 1台

③作業システム：

1) 旧作業システム（3人／セット）



2) 現行作業システム（5人／セット）



- ・ 生産効率の高いハーベスタとチェーンソーで造材作業まで行い、集材作業にフォワーダ 1台とグラップル 2台を活用することにより、林業機械の稼働率が向上した。

④ 森林作業道の作設方法：0.25 m³クラスのバックホウによる作設

- ・ 210m/h a 2,050円/m

⑤労働生産性及び素材生産コスト：

利用間伐	旧作業システム		新作業システム	
	労働生産性 (m ³ /人日)	素材生産コスト (円/m ³)	労働生産性 (m ³ /人日)	素材生産コスト (円/m ³)
	2.4	10,500	6.2	8,000

- ・ 高性能林業機械の導入により、労働生産性を約 2.5 倍に向上したことで、素材生産コストが約 24% 削減され、森林所有者への利益還元に繋がった。

5. 今後の取組等

- ・ 高性能林業機械の導入にともない、オペレータの育成の為、各種研修や習会を積極的に受講し作業技術の向上に努めていく。
- ・ 現地に適した路網の配置設計を実施するとともに、高性能林業機械についても、現地に適した機種・規格・性能を考慮した上で配置し、機械稼働率・作業効率・生産性コストの向上が図れる最適モデルを実践しながら模索していく。



【ハーベスタによる伐倒・枝払い・玉切り】



【フォワーダによる積込・運搬】



【森林作業道開設状況】

【問い合わせ先】

所属：千葉県南部林業事務所

役職・氏名： 副主幹 明田 利一

連絡先： 04-7092-1318